



あんしん少額短期保険株式会社

読売新聞 (2018年1月15日 月曜日 夕刊) 掲載

個別化医療に動き出す。厚労省は、中心的な役割を担う「がんゲノム医療中核拠点病院」を公募、3月までに12か所程度を指定する方針。国立がん研究センター中央病院(東京・築地)などが想定されている。

中核病院は、患者を直接診療する「がんゲノム医療連携病院」とグループを作り、医療を提供する。厚労省によると、中核病院と連携病院を合わせ、実施医療機関として100施設程度が検討を進めている。

100種類以上の遺伝子を一度に調べ、変異を突き止める一括検査と分析は、連携病院からの依頼を受け、中核病院が実施。連携病院は結果に基づいて遺伝子変異に応じた薬を選定し、治療を行う。連携病院は患者が受診しやすいように全国に広く整備する。治療は中核病院でも受けられる。遺伝子の一括検査はこれまで、一部の医療機関で自



タリクイズ
今日の妖怪どこかな?

ループはリンクの上だが、正解はないとた。

保険金固定型葬儀保険

84歳まで加入でき、99歳まで継続可

保険料例
65歳女性100万円プランで

1,150円/月額

葬儀に関する費用をサポート

終活応援キャンペーン
資料請求していただいた方にクオ・カード500円分進呈いたします

QUOカード
平成30年3月31日までクオ・カードは資料請求者1名様に1枚限りとさせていただきます。

インターネットで資料請求可
0120-685-336
平日9:00~17:00土日祝日、年末年始除きます

あんしん少額短期保険株式会社
〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町535番地
登録番号関東財務局長(少額短期保険)第52号

よみうり寸評

大学入試センター試験の前身の共通一次試験は、1979年1月に初めて実施された。今年には40年目にあたる◆あらかじめ選択肢の中に正答を用意してマークシートに記入させる。試験の名称が変わった後も、その方式は続いてきた。週末のセンター試験の光景に往時を重ねた「元祖」マークシート世代もいよう◆既に存在する解を覚えるだけの人間を生んでいる。択一式へのそんな批判は根強い。3年後、センター試験は共通テストに再び衣替えする。記述式の設問も導入して知識偏重からの脱却を図るといふ。そんなに我々はダメでしたか。「元祖」世代の一人としては、いじけた気分にならないでもない◆慰撫してくれるかのように明大教授の斎藤孝さんが語っている。「知識重視・暗記中心型の従来型の学力も大事」だ、と(『中央公論』2月号)。バランスの取れた改革になるといい◆今年の受験生には遠い未来の話だろう。古い受験生の繰り言は聞き流してもうひと頑張りを。入試の季節はこれからがピークである。

2018. 1. 15

読売グループ 大手町モール

万歩計付き電波時計

5,940円(税込)

お電話で
0120-76-3777
(受付時間: 午前7時~午後9時)
インターネットで <http://yom.co/>
大手町モール 6273

あすの天気

低気圧や前線の影九州と中国、四国はに雨の所も。近畿からは夕方から曇り。北北、北海道の所々で朝雨や雪になりやすい

読売新聞 購読申し込み
<http://434381.jp> 0120-

読者センター
販売・配達 03-37
(4時~24時)

紙面関連 お問い合わせ 03-37
(9時~22時) 読者センター 03-37

使った良かった **96%** 濃密とろみ

使用感に関するアンケート結果*

新感覚! 浸みわたる、「発芽米発酵液」
うるおい。が肌をほぐし、
コラーゲン[※] ヒアルロン酸[※] **グングン浸透!**

Beauty BOUQUET